



2025年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月11日

上場会社名 株式会社OSGコーポレーション
コード番号 6757 URL <https://www.osg-nandemonet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 啓輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 安岡 正彦
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6357-0101

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第1四半期の連結業績(2024年2月1日～2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	1,921	4.1	14		15	20.1	12	5.4
2024年1月期第1四半期	1,846	7.8	0	99.5	20	81.8	11	72.2

(注) 包括利益 2025年1月期第1四半期 6百万円 (%) 2024年1月期第1四半期 2百万円 (97.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	2.40	
2024年1月期第1四半期	2.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期第1四半期	6,637	2,961	38.5	491.37
2024年1月期	6,725	3,171	40.7	527.27

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 2,552百万円 2024年1月期 2,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年1月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期		0.00		40.00	40.00
2025年1月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想(2024年2月1日～2025年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,210	6.5	300	73.3	300	51.5	180	60.2	34.65
通期	8,600	8.9	600	93.5	600	70.8	350	605.5	67.37

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年1月期1Q	5,500,000 株	2024年1月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2025年1月期1Q	305,090 株	2024年1月期	305,080 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年1月期1Q	5,194,914 株	2024年1月期1Q	5,195,011 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況により異なる結果となる場合がありますのでご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「第10次4ヶ年計画」の最終年度を迎えており、「成長戦略とグローバル化」「生涯顧客構築」「『ステハジ』プロジェクト推進」の3つを基本方針として、グループ一丸となって「飛躍に向けた新たな基盤作り」を行っております。また、2025年8月に迎える創立55周年に向け、当連結会計年度より販売促進企画やイベントを計画し、準備を進めております。

こうした取り組みの中、水関連機器事業においては、業績は回復基調で推移し、前年同四半期比で増収増益となりました。「食」に関する分野は、食パン専門店「銀座に志かわ」において「食パン専門店」業界のオーバーストア状態が続いており、前年同四半期比で減収減益となりました。

その結果、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,921,869千円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益14,556千円（同3,693.0%増）、経常利益15,989千円（同20.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,491千円（同5.4%増）となりました。

なお、従来「フランチャイズ事業」と表記していた報告セグメントは、「食」に関する事業として「FOOD事業」に名称を変更しております。あわせて、報告セグメント別の損益をより適切に反映させるため、集計方法の見直しを行っております。

各セグメントの経営成績及び今後の状況は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間との比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。詳細は、2「四半期連結財務諸表及び主な注記」(3)「四半期連結財務諸表に関する注記事項」(セグメント情報等)Ⅱ当第1四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(水関連機器事業)

『家庭用機器』につきましては、新ビジネスモデルの拡大に向けて「ステハジ」パートナー会を始動しております。また、4月より販売を開始した新製品がお客様にご好評を頂いており、新規顧客の獲得が順調に推移しております。

『業務用機器』につきましては、当社グループが取り組んでいる「ステハジ」プロジェクトは2025年の大阪・関西万博公式プログラム「TEAM EXPO 2025」として登録されており、熱中症予防や資源循環の観点から会期中だけではなく、会期後の給水スポット普及にも期待が持てます。全国の様々な企業や団体・自治体、教育機関との共創の輪も広がっており、給水スポットのニーズは更に高まっております。特に、自治体や学校、商業施設などにおいてウォータークーラーや水自販機などの導入が順調に進んでおります。

以上の結果、売上高514,466千円（同31.0%増）、営業利益9,310千円（前年同四半期は52,565千円の営業損失）となりました。

(メンテナンス事業)

メンテナンス事業につきましては、売上高は概ね予定通り推移しております。しかしながら、顧客拡大に伴う今後のメンテナンス体制拡充に向けて人材の獲得を進めた事により、販管費が増加いたしました。その結果、売上高490,359千円（同1.1%減）、営業利益73,942千円（同11.2%減）となりました。

当社のメンテナンスは、創立以来54年にわたる実績があるリカーリングビジネスであります。「お取り付け頂いたその日から末永いお付き合いが始まる」というポリシーのもと、当社独自の仕組みである、製品設置後も1軒1軒のお客様宅に訪問してメンテナンスを実施する、という強みを活かし、安定的な収益基盤の構築を進めてまいります。

(HOD（水宅配）事業)

HOD（水宅配）事業につきましては、全国的に気温が上がり季節外れの暑さとなったことやアフターコロナでリアルイベントが増加したことにより、ボトルウォーターやロイヤルティなどのストック収益は順調に推移しております。しかしながら、新規ユーザー獲得が計画を下回ったことにより、加盟店向けのウォーターサーバーなどの卸売上が減少いたしました。また、物流費の高騰に伴って販管費が増加したことにより、売上高283,470千円（同4.4%減）、営業損失5,182千円（前年同四半期は7,991千円の営業利益）となりました。

(FOOD事業)

FOOD事業につきましては、食パン専門店「銀座に志かわ」及び中華総菜を販売する老舗「元祖五十番神楽坂本店」があります。

「元祖五十番神楽坂本店」は順調に推移しており、今後は生産能力をアップするための新工場建設及び積極的に出店計画を進めてまいります。

「銀座に志かわ」は、上述の通り、国内市場においてはオーバーストア状態が続いております。また、現在本部にて支援中の一部エリアでの加盟店不採算店舗に対する統廃合を進めております。その結果、売上高636,697千円(同4.6%減)、営業損失62,671千円(前年同四半期は37,131千円の営業損失)となりました。

引き続き、以下の2点に注力してまいります。

- ① 積極的な商品開発
- ② 海外市場の開拓強化

海外市場においては、現在、中国市場に特化しております。中国国内にて、中国初の「食パン専門店カフェ・レストラン」となる「上海蟠龍天地店」が4店目としてオープンし、順調に推移しております。中国での「食パン市場」は未形成の状態ですが、それ故に中国の「食パン市場」は、今後「市場拡大」の予測をしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,350,643千円となり、前連結会計年度末に比べ107,164千円減少いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が31,801千円、流動資産その他が30,025千円増加しましたが、現金及び預金が164,406千円減少したこと等によるものであります。固定資産は2,286,765千円となり、前連結会計年度末に比べ19,355千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が16,986千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、6,637,408千円となり、前連結会計年度末に比べ87,808千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,797,827千円となり、前連結会計年度末に比べ153,186千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が89,261千円、契約負債が62,067千円減少しましたが、短期借入金117,500千円、流動負債その他が80,657千円、支払手形及び買掛金が67,679千円増加したこと等によるものであります。固定負債は878,357千円となり、前連結会計年度末に比べ30,220千円減少いたしました。これは主に長期借入金13,832千円、固定負債その他が10,319千円、資産除去債務が5,628千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,676,184千円となり、前連結会計年度末に比べ122,966千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,961,223千円となり、前連結会計年度末に比べ210,774千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が195,305千円、非支配株主持分が24,252千円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.5%(前連結会計年度末は40.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和6年3月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701,568	2,537,161
受取手形	112,420	107,158
売掛金	703,401	687,797
商品及び製品	285,156	301,492
原材料及び貯蔵品	419,984	451,785
仕掛品	1,221	1,269
その他	244,713	274,738
貸倒引当金	△10,659	△10,759
流動資産合計	4,457,808	4,350,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,573,335	1,606,383
減価償却累計額	△934,601	△949,482
建物及び構築物(純額)	638,734	656,901
機械装置及び運搬具	139,904	129,241
減価償却累計額	△107,952	△96,543
機械装置及び運搬具(純額)	31,952	32,698
土地	723,955	723,955
建設仮勘定	2,681	1,450
その他	598,255	605,788
減価償却累計額	△532,406	△540,635
その他(純額)	65,849	65,153
有形固定資産合計	1,463,172	1,480,158
無形固定資産		
ソフトウェア	47,197	46,497
借地権	178,000	178,000
その他	17,070	16,918
無形固定資産合計	242,268	241,415
投資その他の資産		
投資有価証券	24,241	26,316
長期貸付金	8,722	3,918
繰延税金資産	96,105	105,795
保険積立金	293,531	296,103
その他	187,955	182,507
貸倒引当金	△48,588	△49,450
投資その他の資産合計	561,967	565,190
固定資産合計	2,267,409	2,286,765
資産合計	6,725,217	6,637,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,584	343,263
短期借入金	1,332,500	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	88,710	80,208
リース債務	7,839	6,214
未払法人税等	144,318	55,056
契約負債	374,329	312,262
賞与引当金	35,631	84,438
その他	385,727	466,384
流動負債合計	2,644,640	2,797,827
固定負債		
長期借入金	172,705	158,873
リース債務	616	—
繰延税金負債	24,408	23,362
役員退職慰労引当金	163,802	165,099
退職給付に係る負債	232,171	232,095
資産除去債務	126,922	121,294
その他	187,950	177,631
固定負債合計	908,578	878,357
負債合計	3,553,218	3,676,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,000	601,000
資本剰余金	689,030	689,030
利益剰余金	1,516,449	1,321,143
自己株式	△137,519	△137,529
株主資本合計	2,668,959	2,473,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,808	4,262
為替換算調整勘定	67,361	74,700
その他の包括利益累計額合計	70,170	78,963
非支配株主持分	432,868	408,615
純資産合計	3,171,998	2,961,223
負債純資産合計	6,725,217	6,637,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年2月1日 至 令和5年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年2月1日 至 令和6年4月30日)
売上高	1,846,660	1,921,869
売上原価	770,016	774,637
売上総利益	1,076,643	1,147,232
販売費及び一般管理費	1,076,260	1,132,676
営業利益	383	14,556
営業外収益		
受取利息	438	441
為替差益	877	—
助成金収入	1,000	—
違約金収入	4,230	—
保険解約返戻金	12,230	—
受取補償金	—	143
その他	4,192	4,813
営業外収益合計	22,969	5,398
営業外費用		
支払利息	1,140	1,548
支払手数料	112	112
為替差損	—	1,036
減価償却費	181	267
その他	1,898	998
営業外費用合計	3,333	3,964
経常利益	20,020	15,989
特別利益		
固定資産売却益	—	2,000
特別利益合計	—	2,000
特別損失		
固定資産除却損	—	1,896
特別損失合計	—	1,896
税金等調整前四半期純利益	20,020	16,092
法人税、住民税及び事業税	32,814	42,242
法人税等調整額	△14,085	△10,736
法人税等合計	18,728	31,505
四半期純利益	1,291	△15,413
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,564	△27,904
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,856	12,491

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年2月1日 至 令和5年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年2月1日 至 令和6年4月30日)
四半期純利益	1,291	△15,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	1,453
為替換算調整勘定	635	7,339
その他の包括利益合計	925	8,792
四半期包括利益	2,217	△6,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,475	16,871
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,258	△23,491

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年2月1日 至 令和5年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水関連 機器事業	メンテナ ンス事業	HOD (水宅配) 事業	FOOD 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	391,404	495,093	292,890	667,272	1,846,660	—	1,846,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,256	652	3,637	289	5,835	△5,835	—
計	392,660	495,746	296,527	667,562	1,852,496	△5,835	1,846,660
セグメント利益 又は損失(△)	△52,565	83,231	7,991	△37,131	1,526	△1,142	383,770

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△5,835千円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,142千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年2月1日 至 令和6年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水関連 機器事業	メンテナ ンス事業	HOD (水宅配) 事業	FOOD 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	513,952	489,798	281,879	636,238	1,921,869	—	1,921,869
セグメント間の内部 売上高又は振替高	514	560	1,590	459	3,124	△3,124	—
計	514,466	490,359	283,470	636,697	1,924,994	△3,124	1,921,869
セグメント利益 又は損失(△)	9,310	73,942	△5,182	△62,671	15,398	△842	14,556

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△3,124千円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△842千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来「フランチャイズ事業」と表記していた報告セグメントは、「食」に関する事業として「FOOD事業」に名称を変更しております。あわせて、報告セグメント別の損益をより適切に反映させるため、集計方法の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。